



桜十字
Sakurajyūji Group



2023年12月20日

株式会社 桜十字
九州旅客鉄道株式会社

桜十字グループとJR九州グループが医療・福祉で初の共同開発 「りすのこスクエア」が2024年1月グランドオープン

- ずっと住み続けられる安全安心なまちづくり -

株式会社桜十字(以下、桜十字)及び九州旅客鉄道株式会社(以下、JR九州)が、福岡市箕子小学校跡地活用事業として、2021年より共同で開発を行ってきた「りすのこスクエア」が、2024年1月、いよいよグランドオープンいたします。本日、グランドオープンに向けて開業式典を執り行いましたのでお知らせします。

「地域を支える場所、再び。-Re すのこ-」というコンセプトのもと、地域の賑わいや災害にも強い安全安心の拠点となる新しいまちづくりを行い、人と緑が繋がる潤いのある空間として、街の新たな価値を創出します。

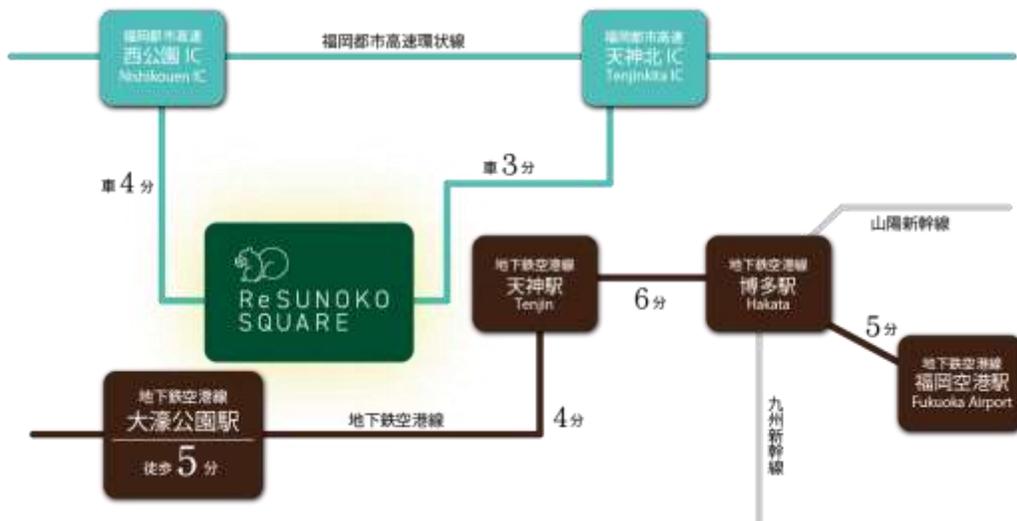


全体鳥観図 敷地南(箕子公園)側から

1. りすのこスクエア概要

暮らしと健康、憩いと賑わいが融合した新たなランドマーク「りすのこスクエア」

「桜十字メディカルフォレスト〔桜十字大手門病院+ホスピタグラン大濠公園〕」「SJR ザ・クラス大手門」「すのこ芝生広場」「すのこ体育館」「すのこハウス」で構成される「りすのこスクエア」は、快適な住環境・医療・賑わいの場を提供し、地域の活性化と魅力の向上を実現します。



2. りすのこスクエア開発の特徴

「地域の魅力向上や活性化、安全安心の拠点となる“まちづくり”」

りすのこスクエアが、地域の賑わいや災害にも強い安全安心の拠点となるよう様々な取組みを行い、地域・行政・事業者の共創による、全国のモデルケースとなるような魅力ある“まちづくり”を目指しました。

- 医療福祉機能の連携と福岡 100※¹ の理念に沿った「いつまでも住み続けたいまち」を目指し、回復期、慢性期の病床を備える「桜十字大手門病院」、高齢者の生活を支える「ホスピタグラン大濠公園」「SJR ザ・クラス大手門」を開設
- 全面天然芝の「すのこ芝生広場」や「すのこ体育館」、「すのこハウス」を設け、地域行事やサークル活動等の場として活用
- 体育館、広場を災害時の避難所・避難場所とし、病院と連携して避難生活を支援
- 中庭やカフェ、テナントなど、地域の皆さまが日常的に利用できる機能を配置



「災害に強い安全安心の拠点」

桜十字は、熊本地震の経験を活かし、病院の使命として、災害対策や安全安心の拠点づくりに取組み、以下の項目を実現しました。

- 福岡市と災害時の施設利用に関する協定を締結し、災害発生時には福岡市と連携し、地域の災害対応に取り組む。
- 「すのこ芝生広場」は、災害時の避難場所として、24時間4方向からの避難者の受け入れが可能。また、マンホールトイレやかまどベンチも整備。
- 「すのこ体育館」は、災害時には福岡市が開設する避難所として施設を提供。避難者への健康面の配慮から体育館には冷暖房を完備。
- 災害発生時は、敷地中央に配置する「すのこハウス」を地域の災害対策拠点(桜十字・JR九州が設置・運営)とし、「すのこハウス」を核に福岡市等と連携し災害対応を行う。



冷暖房完備の「すのこ体育館」



「環境負荷低減への取組み」

持続可能な社会の実現に向けた環境負荷低減への取組みとして、以下の項目を実現しました。

- ZEB Oriented 認証



病院棟・高齢者施設棟は壁面緑化による熱負荷抑制、高効率機器、マイクロコージェネレーションを採用。ZEB oriented^{※2} 相当の省エネルギー性能を確保したと認められ、福岡県において、病院・高齢者施設の複合型建物としては初の ZEB oriented の認証を取得しました。

- CASBEE 福岡 A ランク取得



りすのこスクエア内のすべての建築物が、福岡市建築物環境配慮制度に基づく福岡版 CASBEE^{※3} で A ランクを取得。「断熱性能」「長寿命化」「省エネルギー」「省資源」「自然共生」に配慮した建物群として認められました。建築物そのものの品質だけでなく、周りの環境への影響について配慮した取り組みについても高い評価を得ています。

- 一人一花運動 ・ 都心の森1万本プロジェクト



設計の段階から豊富な植栽計画を取り込むことで、敷地全体の緑化率 44%超を確保。福岡市が進める「都心の森1万本プロジェクト」^{※4}や「一人一花運動」^{※5}と連動し、都心部でありながら美しく潤いと安らぎのある、花や緑豊かな環境を実現しました。ヒートアイランド現象の緩和等にもつながります。



西側の壁面緑化(大手門商店街)



豊かな緑や花で潤いのある中庭

「感染症対応シティへの取組み」

福岡市の進める「感染症対応シティ」の取組みにおける「換気」「非接触」「身体的距離の確保」のため、以下のような主な取組みを実施しました。

- 24 時間換気システム・高機能換気設備の採用
- 非接触(IC)住戸キー、非接触型検温カメラ、自動水栓の採用
- 内装に SIAA(抗菌製品技術協議会)による抗菌抗ウイルス加工認証製品を積極採用

「地域の魅力向上や賑わいの創出への取組み」

地元商店街をはじめとした地域団体・企業と連携した共同イベントや、周辺地域と連携した活動など、地域の魅力向上や賑わい創出に繋がる取組みを実施します。

- 「すのこ体育館」や「すのこ芝生広場」を活用し、健康をテーマにしたイベントや“すのこまつり”などの地域行事を、地域と連携して開催
- 隣接する大手門商店街の機能を補完するテナントとしてコンビニエンスストアを新設
- 敷地西側道路の路上駐車対策として、時間貸駐車場を新設
- 敷地内に設ける花や緑を地域の皆様と一緒に育てていく「花と緑プロジェクト」を立ち上げ、共創のまちづくり活動に取り組む



すのこ体育館で健康フェスタを開催
(令和5年2月)



すのこ体育館で夏まつりを開催
(令和5年8月)

-
- ※1 人生 100 年時代の到来を見据えた、誰もが心身ともに健康で“自分らしく”活躍できる持続可能な社会の実現に向けた福岡市のプロジェクト。健康・医療・介護だけでなく住まいや地域づくり、働き方等も含めて、広い意味での“まちづくり”に産学官民“オール福岡”で取組む。
 - ※2 Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称。快適な室内環境を保ちながら、省エネと創エネにより、「建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物」を指す。ZEB oriented は、建築物の延床面積 10,000 m²以上の建築物で、再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から用途毎に規定する一次エネルギー消費量を削減、かつ、未評価技術を導入したものを指す。
 - ※3 建築物を環境性能で評価し格付けする手法で、産学官で共同開発された全国共通の評価システム。福岡市では、立地や用途等に合わせた重点項目を明確にすることで、環境配慮を促進している。
 - ※4 緑が持つ魅力により、まちに「癒し」を加え、憩いや安らぎが感じられる空間を創出するため、市民や企業と共働し、新たに樹木を植え、今ある緑をより美しくするとともに、民有地における緑化誘導により、良好な都市景観の形成や都市環境の改善を図り、緑豊かなまちづくりを推進する福岡市の取組み。
 - ※5 市民・企業・行政一人ひとりが、公園や歩道、会社、自宅など、福岡市のありとあらゆる場所での花づくりを通じて、人のつながりや心を豊かにし、まちの魅力や価値を高める、花によるまちづくりを目指す福岡市の取組み。



桜十字
Sakurajyuu Group



3. リすのこスクエアの施設紹介

「桜十字大手門病院」

桜十字大手門病院は、桜十字グループの医療法人西福岡桜十字が運営する回復期病床・慢性期100床の他、デイケア、外来機能を備えた病院です。病院内には、広々としたリハビリテーションセンターがあり、一人ひとりにあたりリハビリに専念いただけます。また見晴らしが良く開放感のある屋上庭園や中庭の散歩コースなど、気持ちの良い屋外でのリハビリにもチャレンジしたくなる環境も整えています。隣接する「SJR ザ・クラス大手門」とは2階で繋がっており、入居者さまが外に出ることなく外来を受診いただけます。



外観(那の津通り側)



7階レセプション

「ホスピタグラン大濠公園」

ホスピタグラン大濠公園は、株式会社桜十字が運営する自立から介護が必要な方向けの有料老人ホームです。同一建物内には協力医療機関の桜十字大手門病院を併設し、安心な医療サポート体制が充実。居室65室は、お客さまのご要望にお応えして様々なタイプをご用意。共有部には広々と開放的なレストランやラウンジ等を備え、ずっと安心、ずっと快適な暮らしをお約束します。

「SJR ザ・クラス大手門」

SJR ザ・クラス大手門は、JR九州シニアライフサポート株式会社が運営する自立の方向けの居室168室を備える有料老人ホームです。スカイラウンジ・ダイニング・大浴場等多彩な共用空間を備えます。大濠公園に近く、天神・博多までもアクセスが良い立地で、アクティブにお過ごしいただけます。また、全室に最新のIoTヘルスケアサービスを導入しており、安心して暮らすことができます。



外観(那の津通り側)



桜十字
Sakurajyūji Group



「すのこ芝生広場」

すのこ芝生広場は、約 3,000 m²の全面天然芝の広場空間です。運動会などの地域行事やサークル活動など地域の皆さまの憩いの場としての利用はもちろんのこと、災害時の避難場所としても活用されます。



「すのこ体育館」

すのこ体育館は約 400 m²のスポーツ空間を備えています。地域のサークル活動の場として、また災害時には避難所としても活用できます。地域と桜十字共催の健康イベントを開催するなど、予防医療の実現にも寄与します。

「すのこハウス」

健康に関する講座やイベントなどの行事や活動など、地域の皆さまが利用できる多目的な施設です。災害時には、「すのこ芝生広場」「すのこ体育館」と同じく、地域の皆さまの避難所として提供いたします。

「中庭」

地域の憩いの場となる中庭には、「南池袋公園(2016)」「グリーンスプリングス(2020)」等で知られる「株式会社ランドスケープ・プラス(代表取締役 平賀達也)」を起用し、「都心の森1万本プロジェクト」に資する取組みとして多数の樹木を植栽するなど、緑豊かで落ち着いた空間を実現しています。



敷地北(那の津通り)側から

「外部歩行区間」

外部歩行空間には福岡市の進める「福岡 100」の理念に沿いベンチを随所に設けるとともに、「一人一花運動」のパートナー花壇を配置し緑あふれた落ち着いた空間を創出しています。

また、照明計画に「JR 博多駅前広場光環境計画(2011)」「九州大学六本松キャンパス跡地再開発(2017)」等で知られる「株式会社松下美紀照明設計事務所(代表取締役 松下美紀)」を起用し、夜間でも安心して歩行できる空間を演出します。



敷地北西(那の津通り)側から



桜十字
Sakurajyūji Group



4. りすのこスクエア計画概要

事業主	株式会社桜十字、九州旅客鉄道株式会社
設計	山下・俊・NAK 設計共同体
施工	(病院棟) 大成建設株式会社 (高齢者施設棟) 松尾・九鉄・内藤 建設工事共同企業体 (すのこ体育館棟) 株式会社内藤工務店
管理運営	株式会社桜十字、医療法人西福岡桜十字、医療法人福岡桜十字、 JR九州シニアライフサポート株式会社
土地所有者	福岡市

所在地	福岡市中央区大手門三丁目315番(地番)
敷地面積	約 8,560 ㎡
全体概要	街区名称:「りすのこスクエア」 (病院棟)鉄筋コンクリート造地上9階建て 延床面積約 11,600 ㎡ (高齢者施設棟)鉄筋コンクリート造地上13階建て 延床面積約 13,500 ㎡ (すのこ体育館棟)鉄骨造3階建て 延床面積約 1,200 ㎡
病院棟	「桜十字大手門病院」 回復期・慢性期病床 100 床、外来、デイケア ※2024年2月1日入院・外来受付開始予定 「ホスピタグラン大濠公園」 有料老人ホーム(介護型)65 室 ※2024年2月1日入居可能
高齢者施設棟	「SJR ザ・クラス大手門」 有料老人ホーム(自立型)168 室 ※2024年1月1日以降入居準備開始 テナント(セブンイレブン) ※2024年1月11日オープン
すのこ体育館棟	体育館(スポーツ空間約 400 ㎡)、時間貸駐車場(7 台)、ラック式駐輪場
すのこ芝生広場	約 3,000 ㎡ 全面天然芝

開業予定	2024 年 1 月
事業期間	2024 年 1 月～2093 年12月(70年間)